

平成30年度下請状況実地調査結果について

H31.2.13
入札監理課

1 調査方法

(1) 調査時期

平成30年10月～11月

(2) 調査対象

平成29年度に契約した落札率が低い工事の中から下請比率の高い工事等を抽出し、調査対象業者を選定した。調査を実施した業者数は、元請会社6者、下請会社7者（一次6者、二次1者）の計13者。

(3) 調査内容

ア 主な調査項目

- ① 下請契約及び変更契約締結の状況
- ② 下請代金の支払状況
- ③ 賃金支払状況
- ④ 社会保険加入状況及び法定福利費の支払状況
- ⑤ 施工体制台帳等の作成状況
- ⑥ その他県元請・下請関係適正化指導要綱遵守状況（下請への履行確認結果報告、下請報告書と下請金額等）

イ 調査方法

調査対象者を訪問し、下記の関係書類の確認・照合及び関係者（役員、現場代理人、経理担当者など）からの聞き取りを行った。

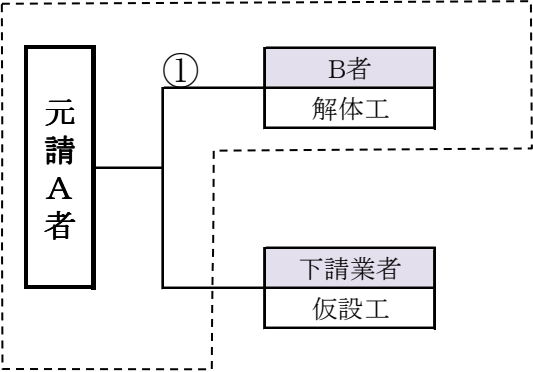
【確認した関係書類】

確認項目	確認した書類
下請代金の決定に関する資料	見積依頼書、見積条件書、見積書及びその内訳書 など
下請契約から完成までの経過に関する資料	下請契約書（注文書、注文請書、基本契約書、基本契約約款）、下請変更契約書、完成引渡書 など
支払に関する資料	請求書、支払台帳、通帳、支払通知書 など
賃金支払いに関する資料	賃金台帳 など
保険加入状況に関する資料	保険者番号、保険料納付書
完成報告、履行確認に関する資料	完成届、検査結果通知 など

2 調査結果

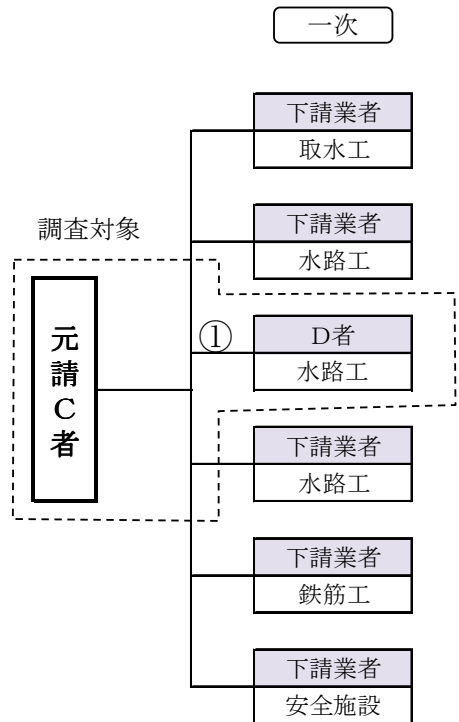
元請会社6者、下請会社7者（一次6者、二次1者）の計13者（A～M者）に下請状況実地調査を行った。不適事項は確認されなかった。

① 囲みが本調査を行った会社と元下契約。

工事1	学校解体工事（喜多方方部、当初契約額約3.6億円）										
<p><施工体系></p> <p style="text-align: center;">一次</p> <p>調査対象</p> 	<p><u>1 選定理由</u></p> <p>外注率が70.6%と高く、工事の主たる部分を元請からB者に発注していることから、契約等を確認する。</p> <p><u>2 調査結果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ①の契約において、見積依頼書→見積書→契約書について、書面で適切に実施していた。 ①の契約において、法定福利費が見積書に明示されていた。 ①の契約において、完成届け→完成検査→引き渡しを書面で実施していた。 <p><u>3 その他確認事項</u></p> <ul style="list-style-type: none"> A者、B者は、社員の資格試験費用を負担している。 										
	<table border="1"> <tr> <td>落札率</td> <td>88.00%</td> <td>外注率</td> <td>70.6%</td> </tr> <tr> <td>下請業者数</td> <td colspan="3">2者（一次2者）</td> </tr> </table>	落札率	88.00%	外注率	70.6%	下請業者数	2者（一次2者）				
落札率	88.00%	外注率	70.6%								
下請業者数	2者（一次2者）										

工事2 用排水施設整備工事（県中方部、当初契約額約1.3億円）

<施工体系>



落札率	88.00%	外注率	24.7%
下請業者数	6者(一次6者)		

1 選定理由

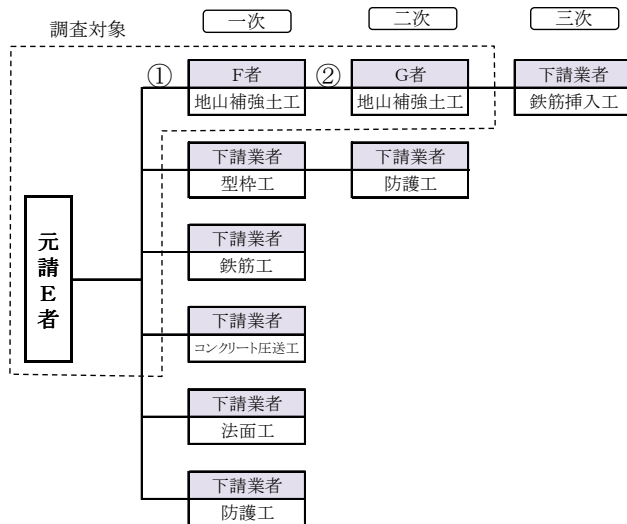
工事の主たる部分を元請からD者に発注していることから、契約等を確認する。

2 調査結果

- ・①の契約において、見積依頼書→見積書→契約書について、書面で適切に実施していた。
- ・①の契約において、法定福利費が見積書に明示されていた。
- ・①の契約において、完成届け→完成検査→引き渡しを書面で実施していた。

工事3 道路改良工（県北方部、当初契約額約2.3億円）

<施工体系>



落札率	88.00%	外注率	84.5%
下請業者数	9者(一次6者、二次2者、三次1者)		

1 選定理由

外注率が84.5%と高く、工事の主たる部分を元請からF者に発注していることから、契約等を確認する。

2 調査結果

- ・①、②の契約において、見積依頼書→見積書→契約書について、書面で適切に実施していた。
- ・①、②の契約において、法定福利費が見積書に明示されていた。
- ・①の契約において、完成届け→完成検査→引き渡しを書面で実施していたが、②の契約では書面で実施していなかった。

3 その他確認事項

- ・E者は、社員の技能講習費用を負担している。

工事 4		道路改良舗装工事（県中方部、当初契約額約 2.1 億円）	
<p><施工体系></p> <pre> graph TD H[元請H者] --- S1[下請業者 立木伐採工] H --- S2[下請業者 法面植生工] H --- I((1) I者 舗装工) H --- S3[下請業者 区画線] H --- S4[下請業者 仮設防護柵設置工] I --- S5[下請業者 立木伐採工] I --- S6[下請業者 法面植生工] I --- S7[下請業者 区画線] I --- S8[下請業者 仮設防護柵設置工] </pre>		<p>1 選定理由</p> <p>工事の主たる部分を元請からI者に発注していることから、契約等を確認する。</p> <p>2 調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ①の契約において、見積依頼書→見積書→契約書について、書面で適切に実施していた。 ①の契約において、法定福利費が見積書に明示されていた。 ①の契約において、完成届け→完成検査→引き渡しを書面で実施していた。 <p>3 その他確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> H者、I者は、社員の資格試験費用を負担している。 	
落札率	89.5%	外注率	13.8%
下請業者数	5者(一次5者)		

工事 5		落石防護網工事（県中方部、当初契約額約 1.1 億円）	
<p><施工体系></p> <pre> graph TD J[元請J者] --- K((1) K者 落石防護網工) J --- S[下請業者 落石防護網工] K --- S </pre>		<p>1 選定理由</p> <p>工事の主たる部分を元請からK者に発注していることから、契約等を確認する。</p> <p>2 調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ①の契約において、見積依頼書→見積書→契約書について、書面で適切に実施していた。 ①の契約において、法定福利費が見積書に明示されていた。 ①の契約において、完成届け→完成検査→引き渡しを書面で実施していた。 <p>3 その他確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> J者は、社員の資格試験費用を負担や、高校生の企業体験を実施している。 	
落札率	89.1%	外注率	36.6%
下請業者数	2者(一次1者、二次1者)		

工事 6		橋梁下部工事（県南方部、当初契約額約 1.7 億円）	
<p><施工体系></p>		<p>1 選定理由</p> <p>専門工事を元請からM者に発注しており、その契約等を確認する。</p> <p>2 調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ①の契約において、見積依頼書→見積書→契約書について、書面で適切に実施していた。 ①の契約において、法定福利費が見積書に明示されていた。 ①の契約において、完成届け→完成検査→引き渡しを書面で実施していた。 <p>3 その他確認事項</p> <p>L者、M者は、社員の資格試験費用を負担している。</p>	
落札率	87.8%	外注率	46.6%
下請業者数	7者（一次6者、二次1者）		

3 事業者への指導

主な不適事項について、該当なし。

不 適 事 項	件数	指導した業者数
(1) 変更契約の不適 (2) 見積書への法定福利費額の不明示 (3) 施工体制台帳に記載のない者の参加 (4) 特定建設業者から下請業者への精算払いが引渡の申し出から起算して50日超 など	0件	0者
計	0件	0者